

事典

日本の地域遺産

2

自然・産業・文化遺産

凡 例

1. 本書の内容

本書は、「〇〇遺産」「〇〇資産」などと呼ばれる国内の地域遺産（地域特有の自然・産業・文化からなる有形・無形の遺産）を集めたデータブックである。

2. 収録対象

- (1) 原則として2012年11月以降、官公庁、地方自治体、学会、企業・団体、国際機関により選定・登録された国内の地域遺産を対象とした。
- (2) 収録件数は106種4,469件である。
- (3) 「〇〇100選」などの名数選、指定文化財で構成されるもの、選定機関・理由が不明なもの、調査報告リストなどについては収録対象外とした。

3. 本文記載事項

(1) 記載形式

- 1) 登録・認定名は、原則として各種資料類・公開時の名称を基本として掲載した。
- 2) 所在地については、各種資料類・公開時の市町村名のデータをもとに表示した。

(2) 記載項目

地域遺産名見出し

概要・選定基準など

[選定機関]

[選定時期] 発表年、もしくは選定年

◇登録・認定名見出し（所在地など）

解説・認定理由など

(4)

4. 本文の排列

- (1) 全体を「自然」「産業」「文化」に大別し、その中は地域遺産名の五十音順の排列とした。
- (2) ただし、排列上濁音・半濁音は清音扱い、拗促音は直音扱いとし、音引きは無視した。また、ヂ→シ、ヅ→スとみなした。

5. 地域別索引

- (1) 都道府県番号順に、概ね北から南へと排列した。
- (2) 同一地域内は、登録・認定名の五十音順の排列とした。五十音順排列の詳細は、本文の配列4.(2)に準じた。
- (3) 見出しの所在は本文の地域遺産名と番号で示した。

6. 参考資料

文化庁・外務省・農林水産省をはじめとする省庁の公式ウェブサイト

都道府県・市区町村の公式ウェブサイト

関係学会、各種団体の公式ウェブサイト

全国各地の観光協会ウェブサイト

日本温泉地域学会編著『新版 日本温泉地域資産』2019年

(5)

目次

自然

001	熊本水遺産	3
002	日本山岳遺産	4
003	日本ジオパーク	8
004	ふるさとの名木〔岡崎市〕	10
005	星空保護区	11
006	ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)	12
007	ユネスコ世界ジオパーク	14
008	ラムサール条約湿地	15

産業

009	味の箱船	17
010	いしかわモノづくり産業遺産	21
011	液体クロマトグラフィー科学遺産	22
012	音響遺産	23
013	化学遺産	23
014	機械遺産	30
015	ぐんま絹遺産	33
016	建築設備技術遺産	36
017	国際水圏環境工学会アジア・太平洋地域部会 水遺産賞〔アジア水遺産〕	39
018	重要科学技術史資料(未来技術遺産)	39
019	重要航空遺産	57
020	情報処理技術遺産	58
021	推薦産業遺産	64
022	世界かんがい施設遺産	65
023	世界農業遺産	68
024	世界水遺産	69
025	選奨土木遺産	69
026	鉄道記念物	84
027	トライボロジー遺産	85
028	日本自動車殿堂 歴史遺産車	86
029	日本農業遺産	89
030	ばね技術遺産	91
031	ふくい産業遺産	94

032	ふくい手しごと	95
033	複写機遺産	100
034	ふね遺産	101
035	分析機器・科学機器遺産	104
036	保全遺産	108
037	宮津遺産	108
038	溶射遺産	110
039	林業遺産	111

文化

040	安曇野ふるさと遺産	118
041	いしかわ歴史遺産	119
042	大洗遺産	121
043	大垣市景観遺産	121
044	大阪市都市景観資源	124
045	おおよど遺産	129
046	奥出雲町遺産	132
047	金沢市スポーツ遺産	135
048	かみかわ歴史文化ものがたり	139
049	菊池遺産	141
050	きたかみ景観資産	142
051	北の造園遺産	144
052	岐阜の宝もの認定プロジェクト	147
053	京都をつなぐ無形文化遺産	148
054	京都府景観資産	149
055	くりはら遺産	150
056	景観遺産〔姫路市〕	151
057	景観資産〔長崎県〕	152
058	景観重要資産〔薩摩川内市〕	159
059	恋人の聖地プロジェクト	160
060	小諸ふるさと遺産	161
061	佐賀県遺産	163
062	山陽小野田市ふるさと文化遺産	165
063	次世代に残したいと思う「ちば文化資産」	166
064	しまだ市民遺産	168
065	下田まち遺産	169
066	重要文化的景観	169
067	上越市「地域の宝」	173
068	湘南遺産	175
069	世界遺産	177

070	世界の記憶（世界記憶遺産）	180
071	選定佐倉市民文化資産	181
072	高槻 まちかど遺産	182
073	太宰府市民遺産	185
074	地域景観資源〔静岡市〕	186
075	地域の宝〔長岡市〕	187
076	地域風景資産〔世田谷区〕	189
077	ちがさき景観資源	191
078	眺望景観資産〔山形県〕	191
079	遠野遺産	192
080	とことこ景観資源	195
081	中野区認定観光資源	200
082	奈良県景観資産	202
083	なりた景観資産	208
084	新潟市民文化遺産	209
085	日本遺産	218
086	日本温泉地域資産	274
087	日本で最も美しい村	276
088	日本天文遺産	277
089	日本の20世紀遺産20選	278
090	日本夜景遺産	280
091	ねりまのとおきおきの風景（地域景観資源）	284
092	浜松地域遺産	293
093	ふるさと景観資源〔鶴岡市〕	306
094	別海町歴史文化遺産	306
095	北海道遺産	308
096	前橋市景観資産	309
097	まち・ひと・こころが織り成す京都遺産	310
098	まつもと文化遺産	311
099	みうら景観資産	312
100	未来遺産運動	313
101	未来に伝える山形の宝	316
102	無形文化遺産	319
103	芽室遺産	321
104	龍ヶ崎市民遺産	321
105	理容遺産	323
106	ワールドアスレティックス ヘリテージブランク〔世界陸上遺産〕	323
地域別索引		325

わりの深い神社

- ◇船場(中央区船場町下・船場町)
かつて舟だまり(船着場)があったため、

このあたりは「船場」と呼ばれた。船場橋には有名な肥後手まり唄にちなんで、エビとタヌキの像が設けられている

002 日本山岳遺産

「日本山岳遺産」は、次世代に伝えたい豊かな自然環境や、人と自然の関わりがあり、それらを守りながら活用するような地元の活動が盛んな山や山岳エリアを、日本山岳遺産基金が認定するもの。2020(令和2)年度までに計39カ所が認定されている。【認定対象】認定は、「自然景観」「生態系・生物多様性」「文化・歴史」のいずれかが優れている山もしくは山岳エリアにおいて、NGOや自治体といった各種団体が「日本山岳遺産基金」の目的に合致する活動を行っていることが基本となる。【認定方法】年に一度、公募し、申請のあった山や山岳エリアとそこで活動する団体に関し、アドバイザーボード(外部有識者による諮問機関)の意見を参考に、日本山岳遺産基金事務局(山と溪谷社社内)が審査し認定する。【団体への支援】当該の山や山岳エリアにおいて活動をする団体に対して以下の支援を行う：助成金の拠出、各種活動の広報支援。【支援の対象となる活動】次世代育成活動、山岳環境保全活動、安全登山啓発活動。

【選定機関】日本山岳遺産基金事務局 【選定期間】2010(平成22)年度～

2013(平成25)年度

- ◇アポイ岳(北海道)

アポイ岳(810m)は北海道日高山脈最南部に位置し、かんらん岩からなるその特殊な地質、気象条件により高山帯の景観が広がる山。生物の種類が豊かで、ヒダカソウやアポイマイマイなどの固有生物、エゾナキウサギなど多くの貴重な生物が生息している。稜線の高山植物群落と幌満ゴヨウマツの自生地は、国の天然記念物に指定。〈認定団体〉アポイ岳ファンクラブ。〈助成内容〉高山植物保護のための調査機器購入

- ◇金華山(宮城県)

金華山(445m)は牡鹿半島の先端から700mの海峡で隔てられた東西3.5km、南北5kmの小島。花崗岩からなる島そのものが山で、金華山黄金神社の神地として歴史的に保護されてきたため、数年前までは、全島が原生林に覆われていた。近年、シカの食害やマツ枯れにより裸地化が進んでおり、東日本大震災では震源に最も

近く、甚大な被害を受けた。〈認定団体〉特定非営利活動法人 FIRST ASCENT JAPAN。〈助成内容〉登山道整備による復興支援

- ◇船窪岳(長野県、富山県)

船窪岳(2341m)は北アルプス後立山連峰南端の蓮華岳と烏帽子岳を結ぶ山域にある。登山コースはガレ場や崩壊地などの難所がある。コマクサの大群落もあり、草原に湖沼が広がる美しい景観や槍・穂高連峰の眺望が楽しめるなど、北アルプスのなかでも貴重なエリアといえる。〈認定団体〉船窪小屋・道しるべの会。〈助成内容〉登山道の維持整備活動

- ◇大台ヶ原大杉谷(三重県)

大台ヶ原は吉野熊野国立公園に指定され、三重県と奈良県の県境に位置する数少ない秘境のひとつ。最高峰である日出ヶ岳(1695m)を中心とした大台ヶ原山は、日本百名山にも選ばれている。大台ヶ原を源流とする宮川の上流域が大杉谷で、日本三大溪谷のひとつ。〈認定団体〉公益社

団法人 大杉谷登山センター。〈助成内容〉登山道整備と安全登山の啓発

2014(平成26)年度

- ◇吾妻山(福島県)

一切経山(1949m)の火山噴火により生成された火山荒原と、オオシラビソを主とする亜高山性針葉樹林の原生林や、山地湿原、雪田草原、瀑布など、変化に富んだ景観を有している。古くから山岳信仰が栄えた歴史的にも価値の高い山。〈認定団体〉吾妻山自然倶楽部。〈助成内容〉植生復元のための緑化ネット購入費用

- ◇鉄ノ峰(長野県)

鉄ノ峰(1623m)は大町市の西に位置する、北アルプスや大町市街が眼前に一望できる前衛峰。ブナ、ミズナラ、リョウブなどの広葉樹がひろがり、シャクナゲが咲き誇る山としても市民に親しまれている。北側の登山道「仏崎大町高校ルート」が、2001(平成13)年高校生たちの手によって開かれ、維持・整備が続けられている。〈認定団体〉長野県大町岳陽高等学校山岳部。〈助成内容〉登山道整備のための器具の購入

- ◇徳本峠(長野県)

松本市安曇島々から上高地、明神へと至る歴史的に重要な登山道。上高地が木材生産地であったころに始まり、日本アルプスが知られる契機となったウォルター・ウエストンらの時代にも、上高地への主要ルートだった。豊かな森林景観と、徳本峠(2140m)から植穂高連峰の姿を望むことができる。〈認定団体〉古道・徳本峠道を守る人々。〈助成内容〉登山道整備のための備品、消耗品の購入

2015(平成27)年度

- ◇南木曾岳(長野県)

南木曾岳(なぎそだけ,1679m)は、中央アルプス南西部に位置し、御嶽山、木曾駒ヶ岳と合わせた「木曾三岳」のひとつ。古くから修験の山として知られている。急峻な独立峰で、山腹には「木曾五木」と呼ばれるヒノキ、アスナロ、コウヤマキ、

ネズコ、サワラの常緑針葉樹林が多く見られ、山頂周辺はクマザサに覆われ、花崗岩の巨岩と針葉樹が点在する庭園的な景観を楽しむことができる。〈認定団体〉南木曾山士会。〈助成内容〉ボランティアによる登山道の維持整備

- ◇三嶺(高知県、徳島県)

三嶺(さんれい・みうね,1894m)は高知県と徳島県の県境に位置。高知側では「さんれい」、徳島側では「みうね」と呼ばれる。ミヤマクマザサとコマツツジに覆われた稜線と山腹部のモミ、ツガ、ブナなどの原生的自然林が広がるが、2000年代はじめからシカ食害が始まり、2007年には核心部の被害が深刻となり、さまざまな保護活動が行われている。〈認定団体〉三嶺の森をまもるみんなの会。〈助成内容〉環境教育用の「シカ食害15年史」の刊行

2016(平成28)年度

- ◇美瑛富士(北海道)

十勝岳を中心とする十勝連峰北部に位置するコニーテ型火山。連峰内には十勝岳(日本百名山)、美瑛岳(北海道百名山)、オプタテシケ山(日本三百名山)がある。〈認定団体〉山のトイレを考える会。〈助成内容〉携帯トイレ普及のための冊子作成

- ◇嘉穂アルプス(福岡県)

馬見山、屏山、古処山の総称で、福岡県嘉麻市嘉穂地区の南部に位置する。地元では「嘉穂アルプス」の愛称で親しまれる。馬見山にはブナが自生するブナ尾根や花崗岩の巨石群、ヤブツバキの群落があり、古処山には露出した石灰岩帯や特別天然記念物・ツゲの原生林、オオキツネノカミソリの群落などが見られる。絶滅が危惧されるクマタカの生息と繁殖も確認され、貴重な生態系が形成されている自然豊かな山域。〈認定団体〉嘉穂三山愛会。〈助成内容〉簡易避難小屋の設置と登山道整備

2017(平成29)年度

- ◇ニツ森(秋田県)

秋田・青森県境に位置する白神山地の主

【選定機関】旧日本国有鉄道、JR各社 【選定時期】1958(昭和33)年～

2018(平成30)年(JR西日本指定)

- ◇旧津山扇形機関車庫と転車台(現:津山まなびの鉄道館)(岡山県津山市大谷) 姫新線の全通にもなつて1936(昭和11)年に設置された扇形機関車庫は、蒸気機

関車全盛期において、山陰と山陽を繋ぐ要衝である津山駅に設置され、日本の旅客および貨物輸送を支えた。2016(平成28)年に「津山まなびの鉄道館」として開館し、鉄道の歴史や仕組みについて紹介している。登録鉄道文化財からの昇格

027 トライボロジー遺産

トライボロジーとは潤滑、摩擦、摩耗、焼付き、軸受設計を含めた「相対運動しながら互いに影響を及ぼしあう二つの表面の間におこるすべての現象を対象とする科学と技術」のこと。「トライボロジー遺産」は、科学と技術の発展の歴史において重要な貢献をしたトライボロジーに関係する技術や事物を発掘・保存するために、日本トライボロジー学会が認定する制度。【認定対象】(1)トライボロジーが産業・人類文化等に貢献をした機械要素、機器、システム等。(2)トライボロジーの発展に貢献をした文献や図面などの技術資料。(3)トライボロジーに関係した建造物、構造物、博物館等の所蔵品などの歴史的な事物。【認定基準】トライボロジーに関する技術の歴史を示す具体的な事物・資料であつて、次のいずれかに合致するもの。(1)トライボロジーの発展史上で工学的に重要な貢献を示すもの。(2)トライボロジーが国民生活、産業、文化、経済、社会、技術教育に対し貢献したもの。

【選定機関】日本トライボロジー学会 【選定時期】2011(平成23)年～

第3回(2012年)

- ◇鉄道用集電摩耗試験機(東京都国分寺市光町2-8-38 ※稼働中であり原則非公開) 電気鉄道におけるしゅう動集電部材(トロリ線およびパンタグラフすり板)の通電摩耗試験を実物規模で行うため、(公財)鉄道総合技術研究所の前身である旧・日本国有鉄道の鉄道技術研究所に1980(昭和55)年に設置された。(所有者)(公財)鉄道総合技術研究所【第9号】
- ◇動圧グループ流体潤滑軸受VTR用回転ヘッドシリンダ(岡山県岡山市東区東平島1360番地 パナソニック(株)AVCネットワークス社 岡山工場) 動圧グループ流体潤滑軸受ビデオテーパーレコーダ(VTR)用回転ヘッドシリンダは、世界で初めて大量生産された「動圧グループ軸受」が使用された機構。(所

所有者)パナソニック(株)AVCネットワークス社【第10号】

- ◇国産メインフレーム用大容量高速磁気ディスク装置(愛知県名古屋千種区不老町 名古屋大学博物館) 1986(昭和61)年開発された実物の精巧なカットモデル(富士通製)。一つはNTTの大規模システム用(GEMMY)、もう一つは民間用(EAGLE3)。(所有者)名古屋大学博物館【第11号】

- ◇湿式クラッチ摩擦特性評価用面接触滑り試験機(千葉県市原市姉崎海岸24-4 出光興産(株)営業研究所 ※稼働中であり原則非公開。使用終了後公開予定) 出光興産株式会社は量産の変速クラッチをそのまま使用し、ロックアップクラッチの摩擦条件領域にて摩擦特性を精度よく評価できる専用の面接触滑り試験機を

製作し、優れたATF(自動変速機油)を開発することで、省燃費化技術の発展に寄与してきた。(所有者)出光興産(株)営業研究所【第12号】

第4回(2014年)

- ◇国産初の静圧流体軸受搭載高精度研削盤(愛知県刈谷市朝日町1-1(株)ジェイテクト刈谷工場 カスタマーセンター) 豊田工機株式会社(現:株式会社ジェイテクト)は、1955(昭和30)年仏国ジャンドロン社と技術提携して静圧流体軸受を搭載した研削盤の国内生産を開始した。静圧流体軸受は非接触での回転軸の支持により高精度回転を実現する重要なトライボロジー要素部品。(所有者)(株)ジェイテクト【第13号】

第5回(2015年)

- ◇現存する日本最古の縦型および横型グリース製造釜(神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-30 協同油脂(株)) 「縦型円筒型グリース製造釜—ダブルアクション攪拌タイプ—」は、1955(昭和31)年に協同油脂操業の地である辻堂工場に設置された開放型の反応釜。「横型円筒型鹼化釜—築炉一体式直火加熱タイプ—」は、1963(昭和38)年7月に辻堂工場に設置された密閉型の反応釜。(所有者)協同油脂(株)【第14号】

- ◇ダイヤモンドブラックコーティング装置(ICLプロセスイオン化蒸着装置)(東京都江東区青海2-4-10(地独)東京都立産業技術研究センター 本部) DLC成膜技術の黎明期である1980年代、イオン化蒸着法によるDLC成膜装置として日本で市販された装置。電子シャワー照射により原料ガスをイオン化し、パイ

アスを印加した基板にDLC膜を形成するもので、旧ドイツ民主共和国の技術に大幅な改良を加えて安定した成膜プロセスを達成した日本における先駆的プロトタイプ機。(所有者)東京都立産業技術研究センター【第15号】

第6回(2016年)

- ◇曾田文庫(神奈川県藤沢市桐原町8番地 オイレス工業(株)藤沢事業場 R&D棟4F) 日本におけるトライボロジーの先駆者の一人である曾田純宗(東京大学名誉教授)が1995(平成7)年に逝去した際に、蔵書の中から主としてトライボロジー、自然科学関連の単行本、学術雑誌を、オイレス工業(株)が譲り受けたもの。(所有者)オイレス工業(株)【第16号】

第7回(2019年)

- ◇ベンガラ及びその製造設備(岡山県高梁市成羽町吹屋86 ベンガラ館) 江戸時代中期から明治時代に広く使用されたベンガラ(主成分がヘマタイトからなる赤色顔料)及び、その製造設備。(所有者)高梁市成羽町観光協会吹屋支部【第17号】

第8回(2020年)

- ◇電動射出成形機用ボールねじ高負荷耐久試験機(神奈川県藤沢市桐原町12 日本精工(株)桐原事業所内 直動技術センター) さまざまなプラスチック製品をつくる電動射出成形機には、重要トライボロジー要素であるボールねじが使用されている。その高負荷耐久性の迅速な評価を可能にするべく、1990(平成2)年に考案・製作された試験機。(所有者)日本精工(株)【第18号】

028 日本自動車殿堂 歴史遺産車

日本自動車殿堂(JAHFA)は、日本における自動車産業・学術・文化などの発展に寄与し、豊かな自動車社会の構築に貢献した人々の偉業を讃え、殿堂入りとして顕彰し、永く後世に伝承してゆくことを主な活動としている。「歴史遺産車」とは、自動車産業そして自動車交通および自動車文化の発展に貢献した歴史に残すべき自

允恭天皇陵古墳、仲姫命陵古墳、鍋塚古墳、助太山古墳、中山塚古墳、八島塚古墳、古室山古墳、大鳥塚古墳、応神天皇陵古墳、誉田丸山古墳、ニツ塚古墳、東

馬塚古墳、栗塚古墳、東山古墳、はざみ山古墳、墓山古墳、野中古墳、向墓山古墳、西馬塚古墳、浄元寺山古墳、青山古墳、峯ヶ塚古墳、白鳥陵古墳

070 世界の記憶(世界記憶遺産)

ユネスコが歴史上重要な文献や絵画、音楽、フィルムなどを後世に伝えるのが目的で1992(平成4)年から始めた事業の1つ。ユネスコの世界記憶遺産国際諮問委員会(IAC)での審査を経て2年に1度登録が行われ、これまでにベートーベンの交響曲第9番の自筆楽譜、マグナカルタ(大憲章)、「アンネの日記」など国際登録427件(2017年10月現在)、地域登録(MOWCAP)46件(2016年5月現在)が登録されている。自然や建物など不動産が中心の世界遺産、伝統芸能などが対象の無形文化遺産と合わせ、ユネスコの三大遺産事業ともいわれる。2011(平成23)年5月25日福岡県田川市と福岡県立大学が共同で申請した山本作兵衛の炭坑の記録画および記録文書が、日本で初めて世界記憶遺産(2016年国内名称が「世界の記憶」に変更)に登録された。以後日本関連として国際登録6件、地域登録1件の計8件が登録されている。

【選定機関】ユネスコ(国際連合教育科学文化機関) 【選定期間】1992(平成4)年～

2013(平成2)年

◇御堂関白記(京都府京都市(陽明文庫))
藤原道長の日記。998(長徳4)年～1021(治安1)年までの公私の記録が記される。「法成寺撰政記」「御堂日記」「入道殿御日記」とも。平安時代中期に政治の実権を握った藤原氏全盛期の重要な史料。1951(昭和26)年国宝に指定。世界最古の自筆日記であり、重要な歴史的人物の個人的記録として登録された〔国際登録〕

◇慶長遣欧使節関係資料(宮城県仙台市(仙台市博物館))
仙台藩主伊達政宗が使節としてスペイン及びローマに派遣した支倉常長がローマで受けたローマ市公民権証書や肖像画、キリスト教の祭具など、江戸時代初期の日欧交渉の実態を物語る資料。遺品24件47点の資料は、2001(平成13)年国宝に指定。そのうち「ローマ市公民権証書」「支倉常長像」「ローマ教皇パウル五世像」の3点が世界の記憶に登録された(日本とスペインの共同申請)〔国際登録〕

2015(平成27)年

◇舞鶴への生還—1945～1956シベリア抑留等日本人の本国への引き揚げの記録(京都府舞鶴市(舞鶴引揚記念館))
第二次世界大戦の敗戦にともない、ソ連領に抑留された60万人から80万人といわれる日本軍人と民間人たちの抑留生活と日本本国への引き揚げの歴史を伝える資料。公的資料が乏しい中の貴重な遺産として登録〔国際登録〕

◇東寺百合文書(京都府京都市(京都府立総合資料館)ほか)
東寺百合文書(とうじひやくごうもんじょ)。東寺(教王護国寺)に伝来した文書。その数は2万5000余通にのぼる。中世社会の全体構造を解明する、質量ともに最も優れた文書史料群として1997(平成9)年国宝に指定されている。名称は江戸時代、加賀藩主・前田綱紀が文書を取めるために百の桐箱を寄進したことから〔国際登録〕

2017(平成29)年

◇上野三碑(群馬県高崎市)
上野三碑(こうずけさんび)は、山上(やまのうえ)碑(681年)、多胡(たご)碑(711年頃)、金井沢(かないざわ)碑(726年)の三つの碑の総称。古代日本と東アジアの文化交流や当時の家族制度などを今に伝える極めて重要な歴史資料として登録。国の特別史跡にも指定されている(山上碑は「山上碑及び古墳」の名称)〔国際登録〕

◇朝鮮通信使に関する記録—17世紀～19世紀の日韓の平和構築と文化交流の歴史(東京都台東区、岐阜県大垣市、静岡県、滋賀県、福岡県福岡市など)
朝鮮通信使は1607(慶長12)年～1811(文化8)年まで朝鮮国王が日本に派遣した外交使節団。計12回にわたって使節が来日した。日本国内12都府県と韓国に残る江戸時代の朝鮮通信使に関する外交資料が、

朝鮮通信使に関する記録として登録された(日本と韓国の関係団体による共同申請)〔国際登録〕

2016(平成28)年

◇水平社と衡平社 国境を越えた被差別民衆連帯の記録(奈良県御所市(水平社博物館))
水平社は1922(大正11)年に日本で、衡平社(ヒョンビョンサ)は1923(大正12)年に日本による植民地下の朝鮮で、それぞれの被差別民を中心に創立。両社は1924(大正13)年から提携を開始し、お互いの大会で人的交流を図った。人類の普遍的原理である人権、自由、平等、博愛、民主主義を基調とした記録としてアジア太平洋地域ユネスコ世界記憶遺産(MOWCAP)に登録された〔地域登録(アジア太平洋地域)〕

071 選定佐倉市民文化資産

佐倉市内には、地域住民に長く保護され、継承されてきた各地域の個性を表す歴史、文化、自然に係る市民文化資産が多く残されている。所有者や地域の人々によって守られてきた身近な文化資産を、市民が誇りを持つことのできる共通の財産として、所有者の努力や市民の協力によって保全と活用を促進し、確実に将来に引継ぐための制度として、「市民文化資産選定制度」が設けられた。所有者等からの申請により、調査・審議の後、保全活用上の留意事項や保全活動の目標を付して選定される。【種別】(1)生活文化資産：おおむね30年以上継承されてきたもの。(2)芸術文化資産：おおむね10年以上の活動実績を有するもの。(3)自然資産：おおむね30年以上経過したもの。

【選定機関】千葉県佐倉市 【選定期間】2005(平成17)年～

2005(平成17)年9月20日選定

◇表町の御神酒所〔通常非公開〕(佐倉市表町)
〈種別〉生活文化資産
◇城麻賀多神社の神輿の巡幸及び奉納相撲と相撲地跡(佐倉市六崎)
〈種別〉生活文化資産
◇時崎城跡(佐倉市六崎)

〈種別〉生活文化資産

◇下総まわらし宿百観音(佐倉市馬渡)
〈種別〉生活文化資産
◇千蔵寺の千駄仏〔通常非公開〕(佐倉市馬渡)
〈種別〉生活文化資産

北海道

北海道

北海道

- ◇アポイ岳 ⇒「002 日本山岳遺産」
- ◇石狩川流域の治水・利水施設 ⇒「017 国際水圏環境工学会アジア・太平洋地域部会 水遺産賞〔アジア水遺産〕」
- ◇大雪山 黒岳 ⇒「002 日本山岳遺産」
- ◇千島桜 ⇒「095 北海道遺産」
- ◇トムラウシ山 ⇒「002 日本山岳遺産」
- ◇パシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) ⇒「095 北海道遺産」
- ◇美瑛富士 ⇒「002 日本山岳遺産」
- ◇松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡 ⇒「095 北海道遺産」

札幌市

- ◇旭山記念公園 ⇒「090 日本夜景遺産」
- ◇大倉山ジャンプ競技場 ⇒「090 日本夜景遺産」
- ◇大友亀太郎の事績と大友堀遺構 ⇒「095 北海道遺産」
- ◇札幌黄タマネギ ⇒「009 味の箱船」
- ◇札幌軟石 ⇒「095 北海道遺産」

札幌市北区

- ◇北海道大学中央ローン・農学部前緑地・エルムの森 ⇒「051 北の造園遺産」

札幌市清田区

- ◇札幌大球キャベツ ⇒「009 味の箱船」

函館市

- ◇荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～ ⇒「085 日本遺産」
- ◇開拓使三角測量基線—勇払基線 (勇払基点, 鶴川基点), 函館助基線 (一本木基点, 亀田基点) ⇒「025 選奨土木遺産」
- ◇函館ハリストス正教会 鐘楼の鐘の音 ⇒「012 音響遺産」

小樽市

- ◇荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～ ⇒「085 日本遺産」

- ◇小樽カントリー倶楽部旧コース ⇒「051 北の造園遺産」
- ◇小樽の鉄道遺産 ⇒「095 北海道遺産」
- ◇手宮公園 ⇒「051 北の造園遺産」
- ◇中野植物園 ⇒「051 北の造園遺産」
- ◇不凍水抜き栓 ⇒「016 建築設備技術遺産」
- ◇本邦国策を北海道に親よ！～北の産業革命「炭鉄港」～ ⇒「085 日本遺産」

旭川市

- ◇旭川家具 ⇒「095 北海道遺産」
- ◇神楽岡公園・上川神社境内城 ⇒「051 北の造園遺産」
- ◇神居大橋 ⇒「025 選奨土木遺産」
- ◇カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～ ⇒「085 日本遺産」
- ◇旧函館本線神居古潭トンネル群 ⇒「025 選奨土木遺産」
- ◇ニコラス展望タワー ⇒「090 日本夜景遺産」
- ◇覆蓋付緩速ろ過池 (春光台配水場) ⇒「025 選奨土木遺産」
- ◇三浦綾子記念文学館と外国樹種見本林 ⇒「095 北海道遺産」

室蘭市

- ◇祝津公園展望台 ⇒「090 日本夜景遺産」
- ◇本邦国策を北海道に親よ！～北の産業革命「炭鉄港」～ ⇒「085 日本遺産」
- ◇室蘭観光道路 (地球岬展望台・トッカリシヨ展望台・潮見公園展望台) ⇒「090 日本夜景遺産」

釧路市

- ◇釧路八重 ⇒「051 北の造園遺産」
- ◇新釧路川 ⇒「025 選奨土木遺産」
- ◇まなほっと幣舞 展望室 ⇒「090 日本夜景遺産」

帯広市

- ◇斜交街路と大通公園 ⇒「051 北の造園遺産」
- ◇北海道の集治監 ⇒「095 北海道遺産」
- ◇緑ヶ丘公園 ⇒「051 北の造園遺産」

北見市

- ◇札幌黄タマネギ ⇒「009 味の箱船」
- ◇野付牛公園 ⇒「051 北の造園遺産」

夕張市

- ◇滝の上発電所施設群 ⇒「025 選奨土木遺産」
- ◇本邦国策を北海道に親よ！～北の産業革命「炭

事典・日本の地域遺産 2

—自然・産業・文化遺産

2021年3月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

不許複製・禁無断転載

(中性紙日-三菱書籍用紙イエロー使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-2868-0

Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。